



豊悠福祉会では、障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業（生活介護・就労継続支援B型）、障がい者グループホーム、放課後等デイサービス、児童発達支援の事業を運営しています。

障害者総合支援法は「障害者及び、障害児が基本的権利を享有する個人としてふさわしい日常生活または社会生活を営み、総合的な支援を行うこと」を目的としています。こうした日々の支援が、誰一人取り残されない地域社会における共生の実現につながり、障がい者の希望ある未来へつなげていく支援となっています。

**良い支援の実践から
地域福祉への広がりを目指す**
『障がい福祉サービス』

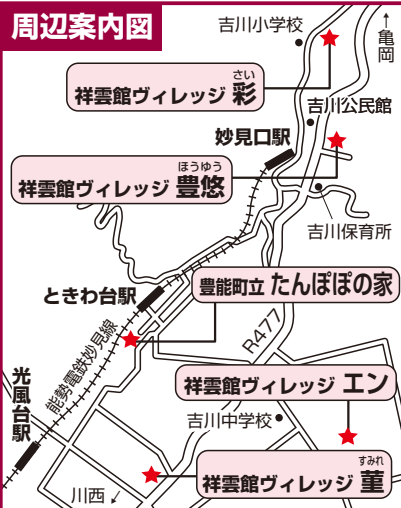


第92号
発行：令和3年10月1日

社会福祉法人 豊悠福祉会
祥雲館
人生の学校

〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301(代表)
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください



地域社会とつながり、働く
生活介護事業は、余暇活動、健康増進プログラムや

※大阪府知的障害者福祉協会発行

私たちの支援の原点は「権利擁護」にあります。「権利擁護」とは「一人ひとりの利用者をかけがえのない存在としてここから尊重する」という意味です。

障がい部門では、職員が「良い支援をしよう（わたしのお守り手帳）」を用いて、利用者との関わりや気づきをその場で振り返ることを日々実践しています。

また、職員同士が個々のセルフチェックから気づいたことを共有し、支援の質の向上に努めています。支援者は、常に高い人権意識を保ち、利用者が安全に、自分らしく生活するため、利用者の様々な感情に共感しながら「より良い支援」を目指しています。

創作などを通じて、利用者の「やってみようかな」と心が動く瞬間を大切に、地域社会とつながること、地域で暮らしつづけることを目標に支援を行っています。

就労継続支援事業では、利用者が「働くこと」を通じて地域との関係を築き、なりたて自分（将来像）の実現への支援を積極的に行い、洗濯や内職、ハンドメイド等、それぞれの個性を活かした活動を行っています。また、たんぽぽの家では、月1回、町内の家庭を回り、アルミ缶の回収・リサイクルをしています。この活動は、地域の方にも協力いただき、アルミ缶と一緒に心温まるメッセージが添えられたり、雨天時には、雨除けのブルーシートや傘

がかかります。地域との繋がりを強く感じる瞬間です。



私たちはこれから、豊能町の観光や資源を活用して、健康者と障がい者がともに働く場の提供を考えています。地域との関わりや経験によって、障がいを持つ方々は、「支えられる側」ではなく「支える側」になれる可能性を秘めています。豊悠福祉会でも、デイリーストワーク※を目標とし、障がい者雇用を率先して実施しています。

そして、このような活動が、雇用

創出や環境課題といったSDGsの取り組みにも合致し、更なる未来の持続可能な地域社会の実現にもつながるものだと考えます。「豊能町から地域社会を変える」そんな壮大な夢を描きつつ、明るい未来に向かって前進します。

※働きがいのある人間らしい仕事



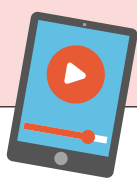
祥雲館 町おこしプラザ
祥雲館 TOYONO COLLECTION 2021

今回は、祥雲館の中でファッションショーを開催します。当日の来場は制限いたしますが、動画配信を予定しております。地域の皆様も映像を見ていただき、何歳になっても輝き続ける喜びや共感をしていただきたいと思います。また、地域で活躍されているクリエイターの協力を得て、企画・映像制作など、地域と協働のイベントです。

【日時】令和3年10月24日(日) 14時～15時

【場所】豊悠福祉会 本館1階リハビリルーム

後援：豊能町 協力：大学堂株式会社 映像制作：JOYNT
※動画配信情報はホームページ等でお知らせします。



たんぽぽの家（ポスティング作業）

障がい福祉の可能性

10月～1月の予定

【祥雲館 町おこしプラザ】

★『祥雲館 TOYONO COLLECTION 2021』

10月24日(日) 14時～15時 開催後、アーカイブ配信予定

【ケアプランセンター祥雲館】

出張！
介護相談会

★『miniマーケットin新光風台』

トヨノつながるWEマーケット主催

10月3日(日) 10時～13時

★『コクレオの森 ～1日学校～』

のせでんアートライン2021 地域プロジェクト

11月7日(日) 10時～15時



WEマーケット
コクレオの森

Withコロナ『特養オンライン面会』

スマホでも気軽に参加いただけるオンライン面会は、画面を通じて日頃会えないお孫さん、家族も同時に会うことができると、利用されている家族様から好評をいただいています。そして、より多くの家族様に面会していただけるよう、今までの曜日や時間の指定をやめて、家族様のご都合に合う日時を予約いただき、面会時間を設定できるようになりました。

(予約は先着順※)

※土日は予約が混み合うことが予想されますので、早めの予約をお願いいたします。



TOPICS

★セカンド・リビング祥雲館のベランダ菜園

夏野菜が採れ始めました。収穫したキュウリを浅漬けの素に漬けて、みんなでモミモミ。夕食時に皆さんでいただきました。



★放課後等デイサービス「ほたるぼし」

夏休み期間、カブト虫を預かっています。大切に育てる為にみんなで、必要なものや世話の仕方を相談しました。このカブト虫が卵を産んで幼虫になるまで大切に育てる約束をしました。



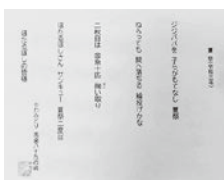
★障がい者グループホーム「すみぞら」

すみぞらのリビングに、ひまわりの夏らしい額を飾りました。フェルトで作った額にはみ出るくらい元気の花や葉っぱは、みんなを笑顔にしてくれています。



★祥雲館ヴィレッジ・エン「多世代交流夏祭り」

ほたるぼしの子もたちが、やわみどりのおじいちゃん・おばあちゃんと、すみぞらのお姉さんたちを招待し、夏祭りを開催しました。お礼に素敵な俳句のプレゼント。



★ココくるポスト「すみれ」

リビング・ホームすみれの扉に「ココくるポスト」を設置しました。認知症に関することならなんでも承ります。お散歩のついでに手紙を投函してください。



TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

祥雲館

検索

facebookはこちら⇒



祥雲館 facebook

検索

次号は、令和3年12月25日～31日配布予定です。

俳句クラブ「やわみどり」

やわみどり(サ高住)のクラブ活動を紹介します。きっかけは、俳句が好きな入居者との出会いからでした。毎日一句、俳句を詠んでおられるのを見て、私も俳句を作ってみたいと思い、部員二人の俳句クラブを作りました。

最初は、俳句の知識は全くなく、思うままに作っていましたが、だんだん俳句の奥深さを知り、夢中になっていきます。今では、俳句づくりが日課となり、趣味の一つとなっています。



『7月の花火』の一句

俳句を載せること、もう一つは「新聞に掲載してもらうこと」です。これから、もっと部員を増やして俳句の面白さを、たくさんの人に知ってもらいたいと思います。

やわみどり 澤宗平

祥雲館の取り組みが月刊誌に掲載されました！

『介護ビジョン 10月号』
日本医療企画発行
9月20日発行

祥雲館が実施している社内研修「HUMAN塾」「未来塾」について、法人の人材育成を取材していただきました。

『家の光 12月号』JAグループ
(一社)家の光協会発行
11月1日発行

今年度の事業目的でもあるSDGsへの取り組みについて取材していただきました。2019年に開催したトヨノコレクション2019(ファッションショー)とSDGsとの関係など、祥雲館の地



イメージ『家の光10月号』

域活動の原点を紹介していただきます。是非ご覧ください！

編集後記

自宅から1、2時間の圏内を楽しむ旅「マイクロツーリズム」で存知ですか？ 日常で通り過ぎていく場所を探索したり、近くのリッチなホテルに泊まったり。意外と、身近にも面白いスポットを発見できるかもしれません。コロナで遠出ができません。でも十分楽しめるマイクローツーリズムで地域を遊び尽くしたいですね。

広報担当 滝本

